

児童発達支援及び放課後等デイサービスに係る
自己評価結果等の公表にかかる届出書

令和 6 年 3 月 31 日

青森市長 殿

所在地 青森市中央三丁目20-30
法人名 社会福祉法人 青森県すこやか福祉事業団
代表者 職 氏名 理事長 本堂 一作

1 事業所情報

事業所名	デイサービスセンターすこやか		
事業所番号	0250160090		
事業の種別	<input type="checkbox"/> 児童発達支援	<input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス	
所在地	青森市緑3丁目3-16		
連絡先	017-762-7570	担当者名	二瓶 貴子

2 取組時期

職員による評価	令和5年11月1日	～	令和5年11月10日
保護者による評価	令和5年11月1日	～	令和5年11月17日
事業所全体による評価	令和5年12月20日	～	令和5年12月20日

2 公表状況

公表日	令和 6 年 3 月 31 日		
公表方法	《児童発達支援》		
	<input type="checkbox"/>	ホームページ掲載 (URL)	
	<input type="checkbox"/>	会報等に掲載し配布 (会報等の名称)	
	<input type="checkbox"/>	その他 (具体的な方法)	
	《放課後等デイサービス》		
	<input checked="" type="checkbox"/>	ホームページ掲載 (URL http://www.life-support-aoba.jp/)	
	<input checked="" type="checkbox"/>	会報等に掲載し配布 (会報等の名称 あおばだより)	
<input type="checkbox"/>	その他 (具体的な方法)		
公表内容	各サービスの「事業所における自己評価結果(公表)」及び「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」を添付してください。		

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和6年3月31日

事業所名 デイサービスセンターすこやか

保護者等数(児童数) 18 回収数 23 割合 78%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない (未回答含む)	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	72%	28%	0%	0%	・他事業所に比べても狭くはないと思われるが、構造化しているため狭く感じてしまうため、構造化を検討する。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	94%	6%	0%	0%	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	67%	33%	0%	0%	・面談の際に事業所内を見学していただく他ブログ等を活用し事業所内の設備について公開を検討する。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%	0%	0%	0%	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	94%	6%	0%	0%	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	11%	67%	22%	0%	・地域の資源(公園など)の活用を検討していく。
保護者への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%	0%	0%	0%	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%	0%	0%	0%	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	94%	6%	0%	0%	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	56%	44%	0%	0%	・保護者懇談会の回数を増やす検討をする。 ・保護者学習会としてペアレント・トレーニングの実施日程を全保護者へ配布し、周知する。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	94%	6%	0%	0%	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	94%	6%	0%	0%	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	88%	6%	6%	0%	
14 個人情報に十分注意しているか	94%	6%	0%	0%		
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	94%	6%	0%	0%	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%	0%	0%	0%	
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	89%	11%	0%	0%	・本人の気づく・わかる・できることを増やすことで、一人でもできた＝楽しく繋げていく。
	18 事業所の支援に満足しているか	100%	0%	0%	0%	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことで、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことで、子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年3月31日

事業所名 デイサービスセンターすこやか

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	80%	20%	0%		
	2 職員の配置数は適切である	80%	20%	0%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	80%	20%	0%	・玄関にスロープ、トイレに手すりがある。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	0%	・毎月ケースカンファレンスを実施。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	0%	・利用満足度調査、福祉サービスの質等のアンケートを実施し、結果を基に反映している。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	0%	・公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	40%	60%	0%	・法人内の内部監査、監事監査を実施している。	・第三者評価の受審はしていないが、毎年法人内の福祉サービス評価を行い業務改善に取り組んでいる。今後、第三者による受審を検討する。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	0%		
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	0%	・アセスメントに基いた支援を実施している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	0%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	0%	・毎月の支援会議で話し合っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	0%	・毎月上司と相談し、目標を立てている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	80%	20%	0%		
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	80%	20%	0%		
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	0%	・朝のミーティングで確認している。	
	16 その日行われた支援の振り返りを次の日までに行い、気づいた点等を共有している	100%	0%	0%	・気づいた点はその都度職員間で共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	0%		
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	0%			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	0%			

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表 : 令和6年3月31日

事業所名 デイサービスセンターすこやか

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	0%	・児童発達支援管理責任者が主に参画している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	0%		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	40%	60%	該当しない。	・現在受入れの実績はないが、受入れの際は医療機関との連携を整えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	80%	20%	0%	・児童発達支援事業所と情報を共有している。	・利用前の事業所見学などの機会を通し、家族や児童発達支援事業所等の情報共有を行っている。
	24	放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	40%	40%	20%	・事業所移行の際には終了時評価等の情報提供をしている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	0%		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	0%	100%		・地域の資源(公園等)を活用を検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	68%	16%	16%	・所長が県の自立支援協議会関連委員をしている。	・公表されている情報を共有する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	0%	・送迎時や電話、メール等で情報共有している。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して支援を行っている	100%	0%	0%	・相談等があった際は対面や電話、メール等で相談に応じている。	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	80%	20%	0%	・保護者懇談会や保護者学習会(ペアレント・トレーニング)を実施した。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	0%	・定期的にあおばだよりの発行。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	0%	・利用者個人情報保護マニュアルを作成し、周知・対応している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	86%	0%	14%	・本人がわかる伝達方法を用いコミュニケーション支援を実施。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	43%	0%	57%	・ゴミ拾いや落ち葉拾いを行い、地域住民へ挨拶の励行や定期的に広報誌を配布している。	・地域に開かれた施設を目指すため、建物の外観整備や花壇等の手入れを行っていく。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和6年3月31日

事業所名 デイサービスセンターすこやか

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	0%	・職員は把握している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	0%	・月に1回内容を変えて訓練を行っている。 (火災・地震・風水害等)	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	0%	・内部・外部研修を受講。受講者は復命書を作成し、研修内容を周知している。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	0%	・マニュアル整備。研修の実施。保護者に事前に説明し、支援計画書に記載し同意を得ている。またやむを得ず身体拘束を行う場合の共通理解については研修を実施している。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	0%	・年度初めにアレルギーの有無を確認。イベントの際も都度確認している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	0%	・実際に起きた事例を支援会議・運営会議にて検討し、回覧し周知している。	